

復活の朝

枯れたと見えた木々が次々と芽を吹きだしました。

死滅したかに見えた草花が地中から顔を出しました。

木は土の中から。草花も土の中から。

土はいのちにとって大切なもの。

いのちが成長するためには土の中にいることが必要です。

暗いからと言って逃げていると成長はかないません。

死んだかに思われたイエスさまは復活し、弟子たちを驚かせました。

イエスさまも土の下、暗所で過ごされたのです。

人々の闇を背負って暗所にくだり、再び明るい世界に現れました。

このいのちはもう滅びることはありません。

私たちも苦しいトンネルを通ることがしばしばです。

けれども、闇の向こうには明るい世界が待っています。

復活の朝です。

清水 弘 神父